

「広島県営水道ビジョン中間取りまとめ」に対する県民意見募集の結果について

1 意見募集の期間及び結果

募集期間	平成 22 年 10 月 25 日（月）～11 月 30 日（火）
意見数	3 人（4 件）

2 意見の内容と県の考え方

応募者	寄せられた意見の内容	意見に対する県の考え方
広島市中区 40代 男性	<p>【県と市町の役割分担について】</p> <p>県営水道と市営水道のすみわけがよく分かりません。住民に対してお互いがどのような役割分担で取組んでいくかを示して欲しい。</p>	<p>水道事業は住民生活に密接なサービスであることから、水道法では、市町村による経営を原則としています。そのため、県内でも市町が事業主体（水道事業者）となって住民の皆様へ水道サービスを提供しています。</p> <p>県は、水需要に対し水源確保が困難な市町に代わって水源を確保し、これらの市町に水道水を供給する水道用水供給事業を営んでおり、市町水道事業の「補完的な役割」を果たしています。</p>
	<p>【公民連携について】</p> <p>人材不足をあげている中で、事務所を指定管理者で担っていかない理由は何かを明確に示していただきたい。</p>	<p>ビジョンでは、将来の人材不足への対応策の一つとして「民間との連携推進」を掲げています。</p> <p>民間との連携方法には、指定管理者制度をはじめ様々な方法がありますが、県では、一つの制度ありきではなく、最も効果的な連携策を考えて参ります。</p>
福山市 30代 男性	<p>【職員のスキルアップについて】</p> <p>職員のスキルアップをと記載があるが、具体的にどのようなことをやっていくのか。きちんと技術の継承ができるのか。もっと詰めたところが知りたい。職員の数を年々削減していると耳にするが、大切な技術を持った職員の削減は今後の行政を圧迫するのではないのか。</p> <p>具体策をビジョンで取り上げられないのであれば、毎年のスケジュールや取組を公表して欲しい。</p>	<p>職員のスキルアップや職員減に対する具体的な対応については、ビジョンの実行計画として策定予定の「広島県営水道経営プラン」で示します。</p> <p>また、経営プランの内容や取組の進捗状況については、ビジョンと併せ、県ホームページで公表して参ります。</p>
広島市中区 30代 男性	<p>【長期的な事業運営について】</p> <p>人口減少に伴い、今後は使用量も減少するとの見込みであるため、施設設備維持修繕などは必要最低限に絞り、効率的な運営を望む。</p>	<p>県では、計画的な点検と修繕を通じて施設・設備の延命化を図り、引き続き効率的な事業運営に取り組んで参ります。</p>